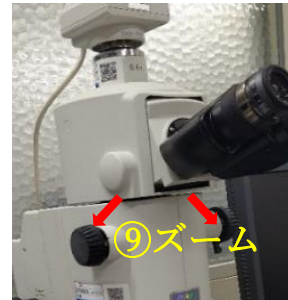
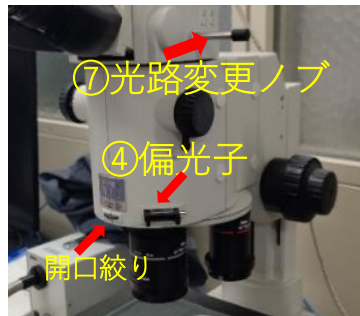
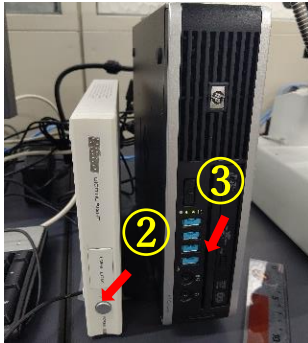
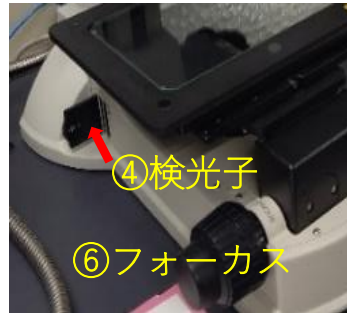


ユニバーサルズーム顕微鏡 簡易マニュアル



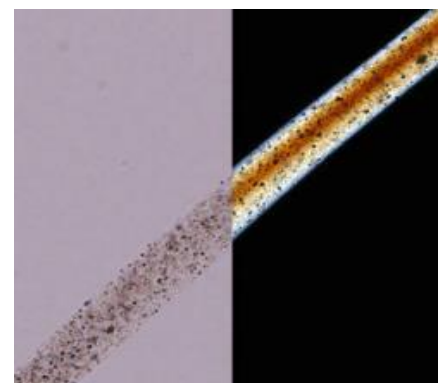
- ① 本体、② カメラ、③ PC の順に電源を ON にする。
 - ④ 通常観察時は、偏光用のフィルターが入っていないことを確認（検光子・偏光子）
 - ⑤ コンデンサをレンズに合わせる（手前：2～5 倍 奥：0.5～1 倍）
 - レンズを選択し、双眼でフォーカスを合わせる。（⑥ 粗動と微動で合わす）
 - パソコンデスクトップにある、「NisD」を立ち上げる。
 - ⑦ 光路変更ノブを引っ張り出し、モニターに映し出されることを確認する。（▷ボタン）
- ※「NisD」の使い方は別記
- 明るすぎるときは、ND フィルター⑧で調整する（ND 8 など）・・・引くと IN
 - ズームつまみ（⑨）で倍率を変えることができる。（×1～8）（倍率＝対物×接眼×ズーム）
 - 終了は③ PC、② カメラ、① 本体の順に OFF にする。

偏光顕微鏡

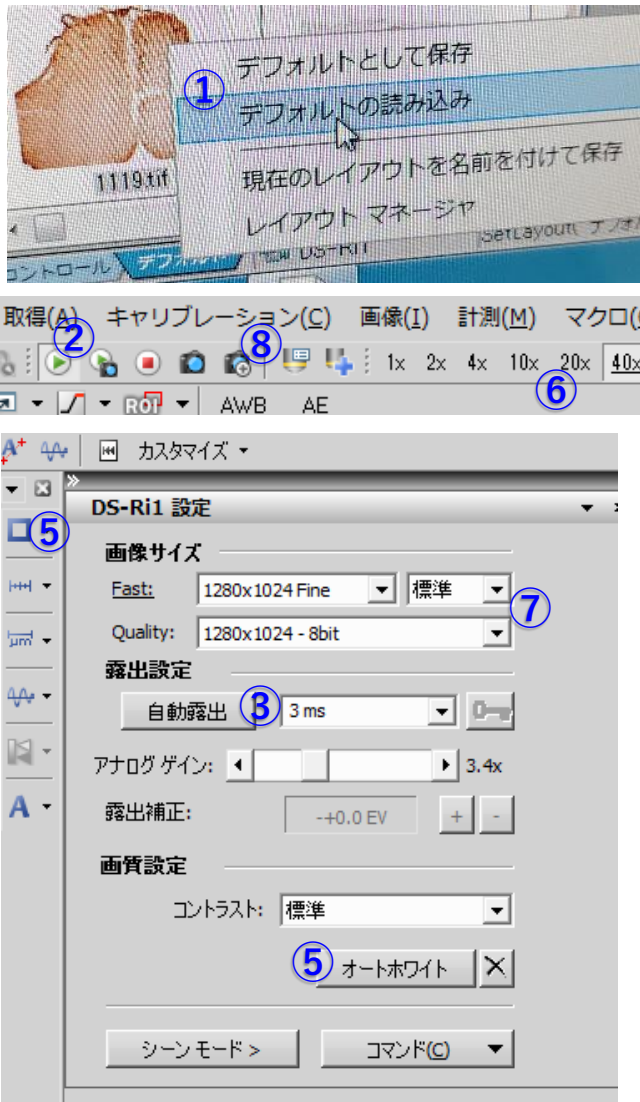
光路に偏光子のみを差し込んだ状態で観察を行う場合を「オープンニコル」（開放ニコル）と呼ぶ。試料プレパラートを入れない状態で接眼レンズを覗くと明視野（光源色の白から薄い黄色）に見える。

光路に偏光子に加え、検光子を差し込んで観察を行う場合を「クロスニコル」（直交ニコル）と呼ぶ。この状態で試料プレパラートを入れずに接眼レンズを覗くと暗視野に見える。これは2つの偏光板によって光線が遮断されているためである。検光子は観察目的に合わせて出し入れや回転が可能

オープンニコル クロスニコル



Nis D (カメラソフト) の使用方法



① レイアウトをデフォルトにする

デフォルトを右クリックして、デフォルトの読み込みを行う

② 再生ボタンを押してライブ画像にする

③ 自動露出ボタンを押す

フォーカスを合わせる（顕微鏡本体で）

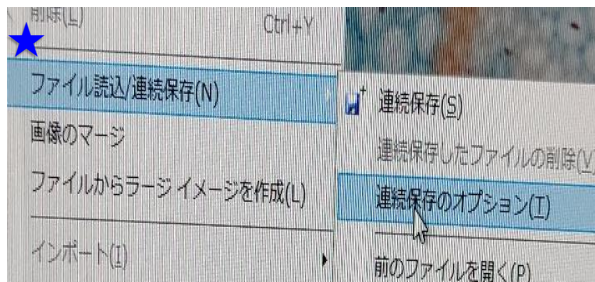
⑤ ホワイトバランスを調整する

※☐ボタンを押し、試料がないところでオートホワイトを押す ☐は再度押せば消える。

⑥ 倍率を今使っているレンズに合わせる

⑦ 画像サイズを合わせる（通常そのまま）

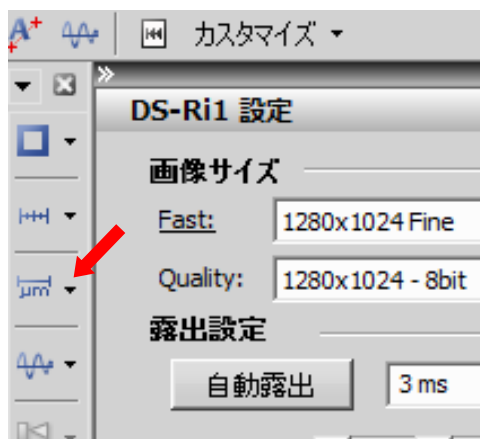
⑧ オートキャプチャーで撮影する



オートキャプチャー保存設定

※保存先とファイルの種類を設定する。

ファイル → オプション → ファイル読み込/連続保存
→ 連続保存のオプション → 連続保存 → デスクトップ
→ DATE → 所属別 → 各教室 → 個人



スケールの挿入

像をキャプチャーまたはオートキャプチャーする。

（※キャプチャーは画像フリーズ状態）

矢印のスケールボタンを押す。

挿入されたスケールを右クリックし、スケールの埋込みを必ず選択してください。またプロパティからスケールのフォントや色等の調整ができます。